

StatOneVar および StatTwoVars の使用法

プログラムを実行すると図 1 のフォームが表示される。

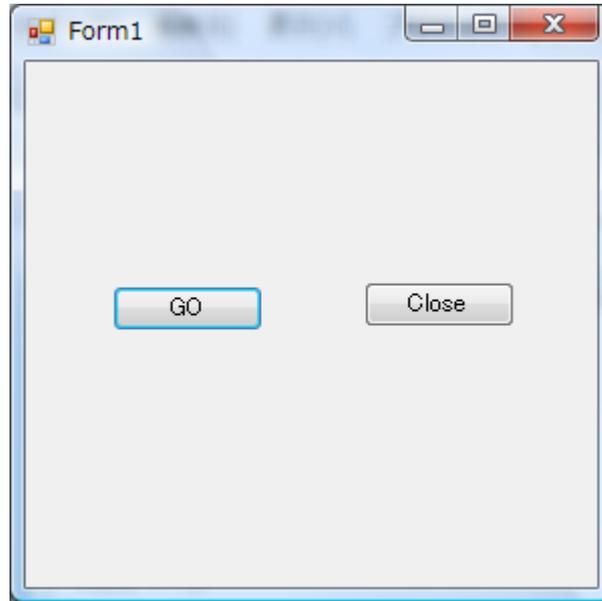


図 1 実行開始時のフォーム

「GO」 ボタンのクリックで図 2 の入力ファイル名の選択ウィンドウが表示される。

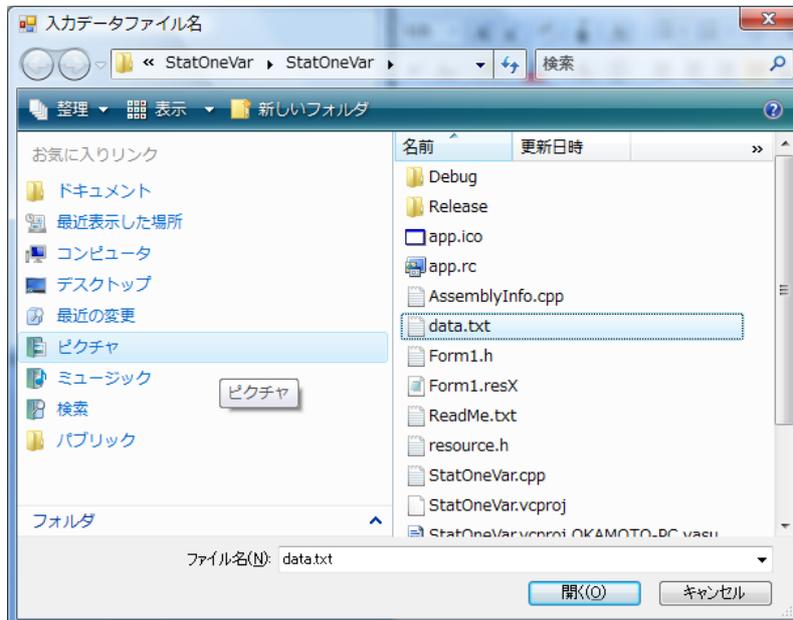


図 2 入力ファイル名の選択

データの格納されているファイル名を選択して「開く」ボタンをクリックする。データは

プログラム StatOneVar の場合は図3のように、StatTwoVars の場合は図4のように用意する。

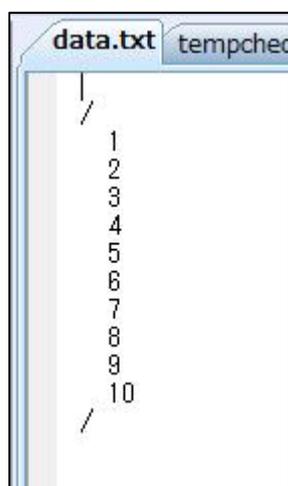


図3 1変量のデータファイル例

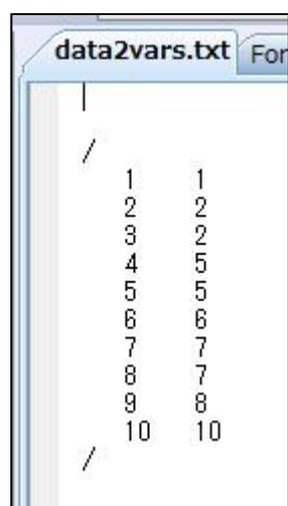


図4 2変量のデータファイル例

いずれの場合も、データはスラッシュ「/」（全角スラッシュ「／」ではない）で始まる行によって挟まれている。1変量データの場合（図3）は、1行に1つのデータが書かれ、2変量の場合（図4）は、1行に1組のデータが書かれている。

図2のウィンドウで入力ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックすると、出力用ファイル名の設定を求めるウィンドウが表示される（図5）。

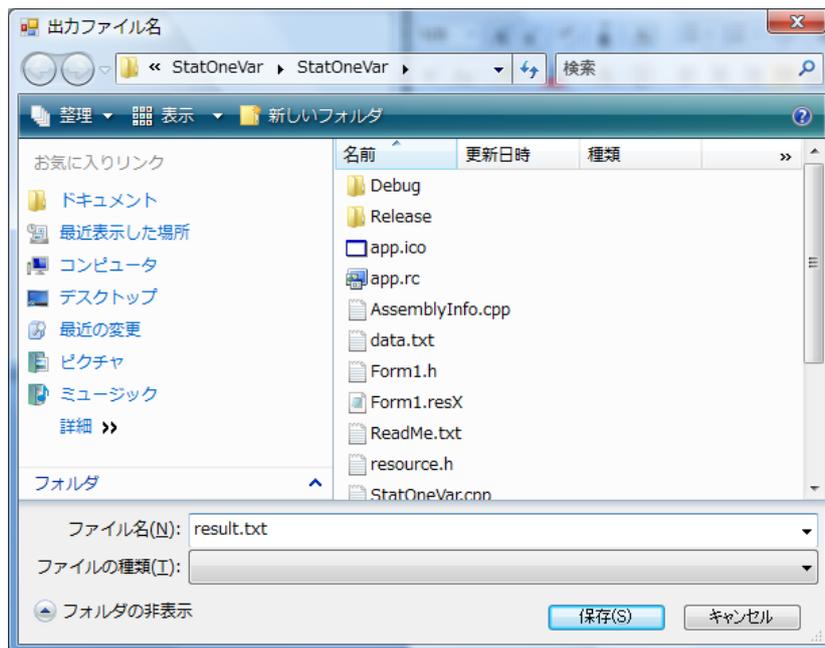


図5 出力用ファイル名の設定

出力用のファイル名を適当に設定して「保存」ボタンをクリックすると計算が始まる。出力ファイルはテキストファイルとして書き出されるので、拡張子を「.txt」としておくと後で開くときに便利である。計算が終了して、出力ファイルへの書き出しが完了すると図6のウィンドウが表示される。

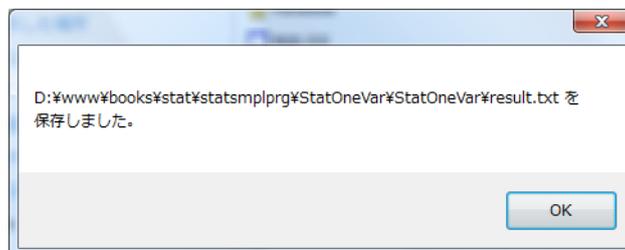
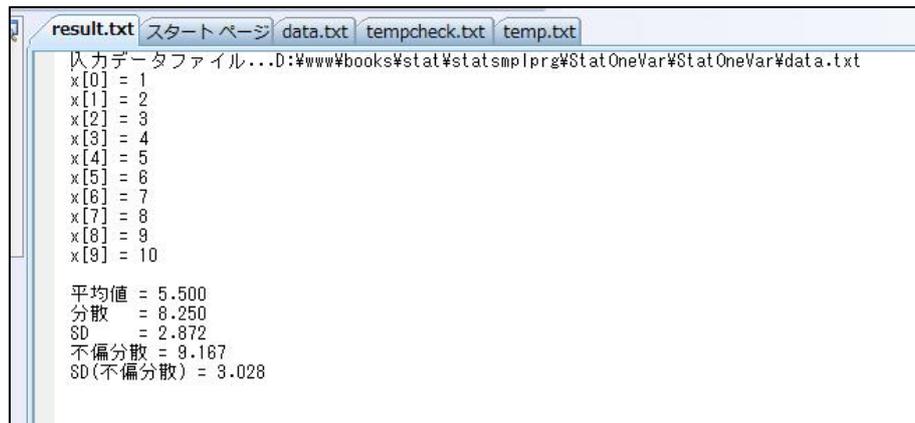


図6 計算終了時に表示されるウィンドウ

図6のウィンドウにおいて「OK」ボタンをクリックするとプログラムの実行終了となる。プログラムの実行終了後、図5で指定した名前のファイルを開くと、図7のようになっている。出力ファイルはテキストファイルなので、適当なエディタで開くことができる。



The image shows a text editor window with several tabs: 'result.txt', 'スタートページ', 'data.txt', 'tempcheck.txt', and 'temp.txt'. The active tab is 'result.txt', which contains the following text:

```
入力データファイル...D:\www\books\stat\stat\smplprg\StatOneVar\StatOneVar\data.txt  
x[0] = 1  
x[1] = 2  
x[2] = 3  
x[3] = 4  
x[4] = 5  
x[5] = 6  
x[6] = 7  
x[7] = 8  
x[8] = 9  
x[9] = 10  
  
平均値 = 5.500  
分散 = 8.250  
SD = 2.872  
不偏分散 = 9.167  
SD(不偏分散) = 3.028
```

図7 計算結果の出力ファイル例